

THE

# QuickDASH

OUTCOME MEASURE

## The JSSH Version

### 上肢障害評価表 (QuickDASH) の記入について

この質問表は、あなたの手の症状や能力(どの程度できたか?)についてお尋ねするものです。

それぞれの質問に対して、先週1週間のあなたの状態について答えて下さい。

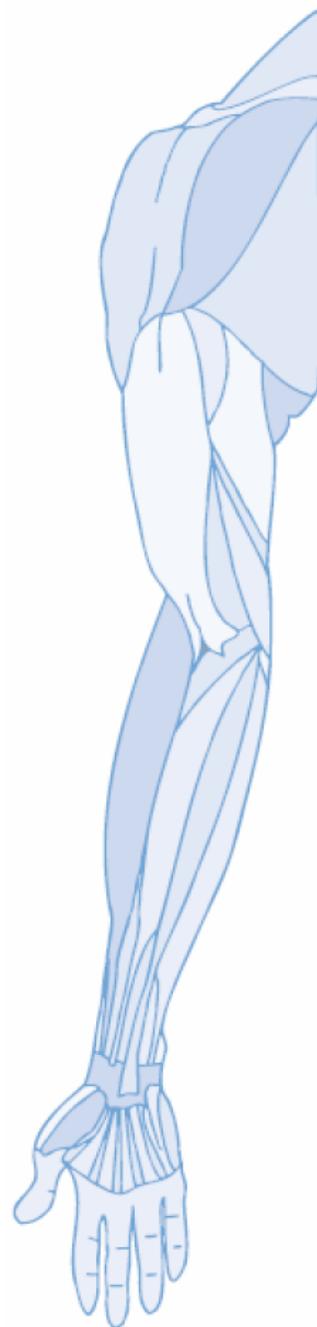
その中にあなたが先週1週間で実際に行っていないものがあつた場合は、どの程度にできたかを想像して、できるだけすべての質問に答えて下さい。

各動作を行うにあたって、左右どちらかの手あるいは両手を使ったかは関係ありません。あなたがどの程度できたのかに○をつけて下さい。(あなたがふだん右手で字を書いている、先週は何かのトラブルで左手で書いていたなら、左手で字を書く動作について最も当てはまる項目に○をつけて下さい。)

お名前		年齢	
男/ 女	利き腕	右/ 左	
記入日	年	月	日

以下は当方で記入します。

診断	
手術日	年 月 日
手術方法	
カルテ番号	
QuickDASH score	
Disability/symptom	_____
Work	_____
Sports/music	_____



先週1週間に次にあげる動作ができたかどうか、該当する状態の番号を で囲んで下さい。

**1. きつめのまたは新しいピンのフタを開ける**

1: 全く困難なし 2: やや困難 3: 中等度困難 4: かなり困難 5: できなかった

**2. 重労働の家事をする(壁ふきや床掃除など)**

1: 全く困難なし 2: やや困難 3: 中等度困難 4: かなり困難 5: できなかった

**3. 買い物バックや書類かばんを持ち運ぶ**

1: 全く困難なし 2: やや困難 3: 中等度困難 4: かなり困難 5: できなかった

**4. 背中を洗う**

1: 全く困難なし 2: やや困難 3: 中等度困難 4: かなり困難 5: できなかった

**5. 食事でナイフを使う**

1: 全く困難なし 2: やや困難 3: 中等度困難 4: かなり困難 5: できなかった

**6. 軽いレクリエーションをする(例: トランプ、編み物、碁、将棋など)**

1: 全く困難なし 2: やや困難 3: 中等度困難 4: かなり困難 5: できなかった

**7. 腕・肩・手の障害が、家族、友人、隣人、あるいは仲間との正常な社会生活をどの程度妨げましたか**

1: まったくなかった 2: ややあった 3: 中等度あった 4: かなりあった 5: 極度にあった

**8. 腕・肩・手の障害によって先週の仕事・日常生活に制限がありましたか**

1: 制限なし 2: やや制限 3: 中等度制限 4: かなり制限 5: 極度に制限

先週1週間の症状について、該当する番号を で囲んで下さい。

**9. 腕・肩・手に痛みがある**

1: まったくなかった 2: ややあった 3: 中等度あった 4: かなりあった 5: 何もできないほど

**10. 腕・肩・手がチクチク痛む(ピンや針を刺したような痛み)**

1: まったくなかった 2: ややあった 3: 中等度あった 4: かなりあった 5: 何もできないほど

**11. 腕・肩・手の痛みによって眠れないときがありましたか**

1: まったくなかった 2: ややあった 3: 中等度あった 4: かなりあった 5: 眠れないほど

## 仕事（選択項目）

あなたの仕事（家事を含む）をするにあたって、あなたの腕・肩・手の障害がどの程度影響しているか以下の質問に答えて下さい。

あなたの仕事は： \_\_\_\_\_

私は働いていません。（以下の質問には答える必要はありません）

先週1週間で、あなたの状態を最も示している番号を \_\_\_\_\_ で囲んで下さい。  
なにか困難がありましたか？

### 1．仕事において、いつもの活動ができましたか

1：全く困難なし 2：やや困難 3：中等度困難 4：かなり困難 5：できなかった

### 2．腕・肩・手の痛みのために仕事が制限されましたか

1：全く困難なし 2：やや困難 3：中等度困難 4：かなり困難 5：できなかった

### 3．自分の思うように仕事ができましたか

1：全く困難なし 2：やや困難 3：中等度困難 4：かなり困難 5：できなかった

### 4．いつもと同じ時間仕事ができましたか

1：全く困難なし 2：やや困難 3：中等度困難 4：かなり困難 5：できなかった

## スポーツ / 芸術活動（選択項目）

楽器の演奏やスポーツをするにあたって、あなたの肩・腕・手の障害がどの程度影響しているか以下の質問に答えて下さい。もしあなたが2つ以上のスポーツもしくは楽器演奏などを行っている場合は、あなたが最も重要だと考えている活動について答えて下さい。

その活動は： \_\_\_\_\_

私は楽器の演奏やスポーツをしません。（以下の質問には答える必要はありません）

先週1週間で、あなたの状態を最も示している番号を \_\_\_\_\_ で囲んで下さい。  
なにか困難がありましたか？

### 1．スポーツ、もしくは楽器演奏においていつもの活動ができましたか

1：全く困難なし 2：やや困難 3：中等度困難 4：かなり困難 5：できなかった

### 2．腕、肩、手の痛みのために活動がどの程度制限されましたか

1：全く困難なし 2：やや困難 3：中等度困難 4：かなり困難 5：できなかった

### 3．自分の思うように活動ができましたか

1：全く困難なし 2：やや困難 3：中等度困難 4：かなり困難 5：できなかった

### 4．いつもと同じ時間でできましたか

1：全く困難なし 2：やや困難 3：中等度困難 4：かなり困難 5：できなかった

選択項目スコア =  $([加算点数/4]-1) \times 25$

選択項目スコアは1項目でも欠損がある場合計算できません

## QuickDASH の採点法

QuickDASH は二部構成です。機能障害・症状のセクション（11 項目の質問があり、それぞれ 1-5 点が当てられます）とスポーツ / 芸術活動、仕事に関する選択項目（それぞれ 4 項目の質問があり、各項目 1-5 点が当てられます）です。

### 機能障害 / 症状 スコア

点数を計算するためには、11 項目のうち少なくとも 10 項目に回答してもらう必要があります。答えを得られた回答の点数を単純に合計し平均して、5 点満点の点数を出します。その値から 1 を引き 25 を掛けて 100 点満点に換算します。この換算をすると 0-100 点で評価された他の尺度と比較しやすくなります。点数が高ければ高いほど障害が大きいことを示しています。

$$\text{QuickDASH機能障害/症状のスコア} = \left[ \frac{(\text{n個の加算点数})}{n} - 1 \right] \times 25$$

n は回答があった項目数

### 選択項目（スポーツ / 芸術活動、仕事）スコア

二つの選択項目のグループがあり、それぞれ 4 項目からなります。これらの選択項目はスポーツ選手、演奏家、上肢をよく使う仕事に就いている人たちを対象にしています。この人たちが困難を感じるのは専門的な活動をしている時だけかもしれません。その場合 QuickDASH 機能障害 / 症状 スコアでは測ることはできません。

機能障害 / 症状 スコアで述べた手順に従って、4 項目からなる選択項目の点数を計算します。点数を計算するためには 4 つの質問すべてに回答してもらう必要があります。それぞれの選択項目で回答に対応する点数を単純に合計し 4（項目数）で割ります。その値から 1 を引き 25 を掛けて 100 点満点の点数を計算します。

$$\text{QuickDASH選択項目スコア} = \left[ \frac{(\text{4個の加算点数})}{4} - 1 \right] \times 25$$

### 回答がない項目の取り扱い

10%を越す項目（つまり 2 項目以上）が無回答の場合、QuickDASH 機能障害 / 症状 スコアを計算できません。このルール（無回答が項目数の 10%を超えてはいけない）に従い、各選択項目のグループは 4 項目しかないので、選択項目では欠損値は許されません。